

稲敷市立小・中学校の適正規模・適正配置 に関するアンケート調査

《児童生徒の保護者の皆様へのアンケート調査》
ご協力をお願い



日頃より、本市教育行政に多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、本市では小学校8校・中学校4校で公立の義務教育を担っている状況ですが、市内全域で人口減少が加速し、同時に少子化も進行する中、一部では複式学級が発生するなど、文科省や茨城県教育委員会の示す、適正な学級規模に至らない学校が増加してきています。

表：現在の稲敷市における学校規模の状況（令和6年度）

学校規模 (通常学級数)	過小規模校 (1～5 学級)	小規模校 (6～11 学級)	適正規模校 (12～18 学級)	大規模校 (19～30 学級)	過大規模校 (31 学級以上)
小学校(8校)	1校	7校	0校	0校	0校
中学校(4校)	2校	2校	0校	0校	0校

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づく本市の子どもの数(0～14 歳未満人口)をみると、令和2年から30年間で約2,500人の減少(増減率 -70%超)が予測され、さらに児童生徒数の減少や学校の小規模化が進むことが想定されています。

本市では、これまでも、一部地区で生じてきた児童生徒数の減少に対応するため、学校の統廃合を実施し、教育環境の改善に努めてきました。

しかしながら、今後さらに進む児童生徒数の減少や学校の小規模化を見据え、全市的な視点から、将来にわたって持続可能な学校環境を整えていくことが重要であることから、将来を見据えた適正な学校規模と学校配置の方針となる「稲敷市立小中学校適正規模・適正配置計画」の策定を現在進めています。

つきましては、計画策定にあたり、未就学児童と小・中学校の児童生徒の保護者を対象に、学校規模や通学条件などに関するお考えや意識を把握することを目的としたアンケート調査を実施させていただくこととしました。

なお、本調査は、計画の策定の際の基礎資料として活用するために実施するものです。ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、今回の目的外の利用はいたしません。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年9月 稲敷市教育委員会

■アンケート調査の回答方法

1. 本アンケート調査は、インターネットによる回答をお願いしています。
※紙の調査票での回答をご用命の方は、調査票を郵送致しますので、下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。
2. 右の二次元コードまたは下記URLからアクセスしてください。
URL : <https://www.city.inashiki.lg.jp/> (仮)
3. アンケートのご回答は、月 日 () までにお願いします。

※ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 稲敷市 教育委員会 教育政策課

電話：0298-92-2000（代表）（内線 2410）



WEB アンケート
二次元コード